



# 関連トクイベント「目録読書の愉しみ」



本のタイトルが並んでいるだけの無味乾燥な目録がどうしてこんなに面白いのか!?  
古書目録のデータを駆使して著書を執筆するかわじもとたかさん、  
『日本古書目録大年表』(金沢文圃閣)の解説を担当した鈴木宏宗さん、  
古書目録をめぐるフリーペーパーを発行していた南陀楼綾繁さんという、  
古本好きの3人に、古書目録を読む愉しさを  
そこから得たものについて、存分に語っていただきます。

講師：かわじもとたかさん／愛書家。

『古書目録にみた「すごろく」』(杉並けやき出版)などの  
『古書目録にみた〇〇』シリーズ5冊を執筆。

鈴木 宏宗さん／国立国会図書館職員。

なんだろう あやしげ 「帝国図書館長松本喜一について」(『図書館人物伝』日外アソシエーツ)など執筆。

南陀楼 綾繁さん／ライター&編集者。

フリーペーパー「モクローくん通信」(2003.1~2006.9)を発行。  
『一箱古本市の歩きかた』(光文社)など執筆。



日時：2015年2月6日(金)  
18:30~20:15(18:00開場)

会場：千代田図書館  
9階特設イベントスペース

席数：50席(参加無料、事前申込不要、  
当日先着順、立ち見可)

共催：NPO法人神田雑学大学

古書目録は、本のカタチをしているのに書店では買えない不思議な「出版物」だ。本のタイトルや著者など最低限の情報と値段が記された冊子で、興味のないヒトには無味乾燥な代物だろうが、古本好きにとってコレぐらいオモシロイものはない。もちろん欲しい本がないかと鵜の目鷹の目で探すのだが、目的の本が見つからなくても、本の並べ方に感じ入ったり、ちょっとしたコメントにニヤリとらする楽しみがある。こんなヘンなタイトルがあるのかとか、この誤植は笑えるなどとやっている、たちまち時間が経ってしまう。本を読むよりも目録を読んでいる時間を愛する、本末転倒の目録愛好者はけっこう多いはずだ。

南陀楼 綾繁「ほくはモクローくん」より  
(『ナンドラウアヤシゲな日々 本の海で溺れて』無明舎、2004年)

## 古書販売目録とは

古書販売目録は、古書店が個人や大学など顧客に送る通信販売カタログです。一時的な利用を目的とした販売カタログであり、長期間保存されることはない性質のものです。過去に流通した書物やその値段等を知ることができる貴重な資料です。

基本的な目録には、分類ごとに書名がリストアップされ、著者や出版社などの基本情報に加えて解説や販売価格等が記されており、目玉商品の写真図版が掲載されているものもあります。古書店の取り扱い分野と同様に、一般古書から和本・錦絵、洋書、漫画、絵本など幅広いジャンルが扱われるのも特徴です。

## 千代田図書館所蔵古書販売目録の検索システム

千代田図書館が所蔵する古書販売目録コレクション約9,350点を、インターネットで検索することができます。書店名、発行年、掲載書物の種類による検索のほか、書店別の販売目録、共同販売目録、入札会目録、蔵書家の所蔵目録など、分類毎に見ることもできます。

千代田区立図書館ホームページ内 トップページ  
>本・資料をさがす>古書販売目録>古書販売目録検索システム

### 会場案内

## 千代田区立 千代田図書館

東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所本庁舎内  
電話 03-5211-4289・4290

アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線  
「九段下」駅下車4番または6番出口から徒歩5分

開館時間 月～金=10:00～22:00  
土 =10:00～19:00  
日・祝・12/29～12/31=10:00～17:00

展示期間中の休館日 1月1日～3日、1月25日、2月21日～23日

